

明治・大正・昭和期の建設工事写真シリーズ (写真提供・施工/(株)アキヤマ)

大正6年4月竣工



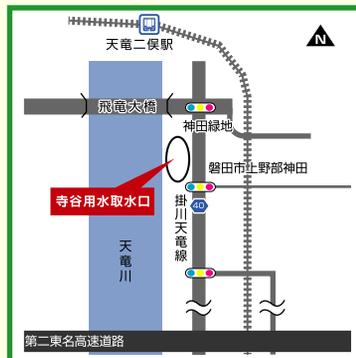
寺谷用水取水口扉門（磐田市上野部）



現在の状況

寺谷用水は400年前から磐田地域の水田に水を送っている用水で、最初の取水口が寺谷地区にあったので寺谷用水と呼ばれました。その後取水口箇所は天竜川を段々と上流に位置し、写真の扉門は磐田市上野部神田地内に大正6年4月に完成したものです。

現在の取水口は船明ダムであり、農業用水のほか私達の生活に必要な発電や上水道、工業用水にも利用されています。



つちおとの表紙を飾る写真

大募集!

◆テーマ・題材◆

静岡県内の明治・大正・昭和初期の建設工事関連写真

住所、氏名、電話番号、撮影年月日、撮影場所、写真の簡単な説明を記入したメモを必ず添えて、表紙裏面に記載の住所あてに郵送、あるいは協会までご持参ください。写真はつちおと掲載後に返却いたします。

※ご応募いただく際お預かりする個人情報は、掲載させていただいた方への図書カードの送付のために利用させていただきます。

掲載の方には
2,000円分の
図書カード進呈!





鈴木俊光 袋井建設業協会長

対談

原田 袋井市長 鈴木 袋井建設業協会長



原田英之 袋井市長

大規模災害の発生が懸念される中、地元建設業者と力を合わせ市民の安全・安心な暮らしを守り、併せて、健康的で豊かな袋井市のまちづくりに力強く取り組む原田市長と地域の建設業界をリードする鈴木協会長との会談を9月26日(木)に実施しました。

建設業の現状について

本日は、ありがとうございます。最初に袋井建設業協会の概要と業界の現状についてご説明します。

【会長】 袋井建設業協会は、昭和23年に設立し、昨年一般社団法人となりました。会員は袋井土木事務所管内の5市1町に所在する60社です。

主な活動としては、私達プロの目から見た危険箇所等の公共工事が必要とする場所を調査しそれを県や市町に提案したり、県との災害協定の締結、高校生のインターンシップの受け入れ、技術講習の開催や工事の安全に対する取組など様々な活動を行っています。

次に、建設業界の現状についてであります。建設投資が大幅に減少する中、入札ではダンピングが横行し、下請けや社員の給料にまで影響が出てきています。その為、若い人達が建設業に魅力を感じなくなり、若年技術者の伝承について大変心配しています。国も建設業の再生に向けて様々な対策を講じていますが、なかなか改善されません。保証会社の調べでは、本県の建設業者は総資本利益率がマイナスとなるなど、東日本の中では最も厳しい経営環境下にあります。

【市長】 袋井市の予算の約1/4を投資的経費が占めていますが、限られた予算の中で少子高齢化などにより扶助費が増え、いく分、どの予算を減らすかを考えるようになってしまっている。こうした中で大規模災害が発生した時に、もし地元建設業者

の方がいなかったらと考えると、地元建設業者の育成は大変重要であります。市外業者も含めて競争をして、効率的に税金を使うという考え方もありますが、私は地元建設業者から税金を頂き、それを地元で還元するというのは大変有意義なことだと考えています。

一方、今この自治体でも老朽化した施設のメンテナンスが問題になっていきます。こうした施設を一度に建て替えることができればよいのですが、財政面からも不可能でありますので、より効率的なメンテナンスを推進しなければなりません。これにも建設業の方々の力をお借りしなければなりません。

今、社会の中で、コンピュータシステムやプログラムといった、眼に見えないものに多くのお金がかかっています。言い換えれば形の無いものといえるのですが、その対極にあるのが建設業だと思っています。我が国を支える「ものづくり」という観点から、建設業は大変重要な産業であると認識しています。

【会長】 私達建設業界も、ものづくりの魅力や面白さなどを伝えていかなければならないと考えています。その一環として、子ども達を対象とした現場見学会を開催していますが、こうした活動をより一層推進していきたいと思っています。

市の防災・減災対策について

次に、防災に対してのお考えをお聞かせください。

【市長】 地震に対する課題は主に三点あります。第一点目は津波に対する防御、

第二点目は緊急避難の道路、第三点目に家屋の倒壊対策です。まず、防潮堤については、袋井市は幸いなことに、津波が砂防林を越えてこない想定されていますが、万が一砂防林が破壊されてしまったらという前提で対策を考えています。市の南部地域を守るための防潮堤は必要であります。巨大なコンクリートの壁を作ってしまうことには賛成できません。一つの案として、砂防林の窪んでいるところを盛土により強化するなど、自然景観にあった方法を考えたいと思います。

最後に、住宅については、昭和56年以前に建てたものは耐震補強の補助制度もあり、倒壊に対する対策がとられています。問題は、その後平成12年くらいまでに建てた住宅です。この間に建てたものについては、国が耐震補強制度等を検討する必要があると考えます。さらに、住宅の倒壊対策に加え、ブロック塀などの危険性についても、もっと踏み込んだ対策を進めなければなりません。と思っています。

【会長】 これからの公共事業は、以前作ったものの補修や補強といった仕事が中

【市長】 農業の持っている安らぎや緑は大切ですので、それを基本に置きながら併せて、工業生産額が4500億円から5000億円もあるという袋井市の特色を生かした街づくりを推進していきます。

一方、袋井市の玄関口であります袋井駅周辺の整備についてであります。駅前が健康的で皆が集う場になりたいと考えています。健康的とは、袋井市は「日本一健康文化都市」を宣言していますが、これは健康を文化と感ずる街という意味を込めているのです。

また、袋井市は食品産業が多い街です。県の内陸フロントエリアの取組の中では、東名以北の北部地域を「食と農」の産業集積エリアと位置づけており、新東名に近接し地理的優位性の高い三川の西山地区については、将来こうした土地利用が図られる有力な候補地として期待するところです。企業を誘致すると税収面のメリットはもちろんです。安定して働く場所ができることが最も大切です。そのためにも、新東名と東名袋井インターをつなぐ付近は安定した雇用を作りだせる場所にしたいと考えています。例えば、中東遠総合医療センターの周辺には工業団地ができ、掛川市民だけでなく、袋井市からも働きに

今後のまちづくりについて

市の取り組まれているまちづくりについてビジョンをお聞かせください。

【会長】 雇用の方は、経済の回転の視点からも大切ですね。また、健康が文化ということも非常に共感できるお話だと思います。

入札契約制度について

次に、入札制度についてお考えをお聞かせください。

【会長】 周辺の市町を見ますとダンピングがあったり、低価格での入札でくじ引きになったりという状況が見られています。過度な価格競争をセーブして頂けるのは発注者だけですので、制度のあり方についてもお考え頂きたいと思っています。

【市長】 公正な入札執行の結果として落札率が高くなった場合においても、部に落札率が高いのではないかと声が出ていることも時折ありますので、入札制度は慎重に運用する必要があると考えています。

【副会長】 市は県と同様の方式を採用しているということですが、一部に市独自の方式も取り入れています。例えば、最低制限価格の算出方法ですが、県の一般的な工事では最低制限価格は予定価格の86%程度ですが、市独自の方式では80%程度となっています。つまり、県が基準としているパーセンテージを下回ってしまうことになるのです。

【会長】 価格の競争は必要なことであると思いますが、今後は価格よりも、品質

の競争でふるいにかけるようになってくるのではないのでしょうか。「安かろう悪かろう」ではなく、価格よりも品質を重視した入札制度を採用して頂くことが、今後の街の発展に繋がると考えます。

【副会長】 県の建設産業ビジョンでは、建設業は地域にとって必要不可欠な産業であることを前提としまして、過剰供給構造の解消に向け、選択と集中により地域の中核となる建設企業の存続と育成を推進するという方向性が打ち出されています。しかしながら、地域によって事情も異なっているため、袋井市の実情に沿って元請と下請けが共存できる仕組みを作って頂くことを期待します。

【市長】 公共事業は税金を使っている仕事ですから、市民の皆さんが納得のいく形をとらなければならぬと思います。市からの一方的な制度の運用だけではなく、業界とも話し合いをしながら、両者で市民が納得できる公正でわかりやすい規律を決めていく必要があると思います。

本日は誠にありがとうございました。



●地元建設業界の実情を説明する村松明彦副会長(左から3人目)
●司会は、川島達也広報委員会委員長(右端)

広報委員会(川島達也委員長)は、10月1日に「国宝姫路城大天守保存修理工事」の現場を視察しました。
 姫路城は、築城から四〇〇年以上の歳月を重ね、昭和三十一年に竣工した「昭和の大修理(解体復元工事)」から四十五年を経て屋根瓦・漆喰壁・軒・庇に傷や汚れが激しくなってきたため二〇〇九年(平成二十一年)から本格的な修理を行うことになりました。国宝として世界遺産の修理がどのように施工されているのかを目的に取材をしました。



■姫路城の概要

日本には十二の現存する天守閣が有りますが、中でも姫路城はその美しさ・規模からして誰もが認める日本の名城で、白漆喰で塗られた城壁の美しさから、別名「白鷺城」とも呼ばれています。
 姫路城の始まりは、一三六六年の赤松貞範による築城とする説が有力で、その後戦国時代・安土桃山時代を経て、関ヶ原の戦いの後に城主となった池田輝政によって今日見られる大規模な城郭となりました。
 その後「戊辰戦争」・「明治政府の廃城令」・「太平洋戦争の空襲」などの危機を乗り越えてきました。このため「不戦の城」とも呼ばれています。
 特に太平洋戦争においては、姫路も二度の空襲被害があったものの、大天守閣最上階に落ちた焼夷弾が不発弾になる幸運もあり、奇跡的に焼失を免れ、現在に至るまで大天守閣をはじめ多くの城郭建築の姿を残しています。
 また、姫路城は、ほぼ中堀以内が特別史跡に、現存建築物の内、大天守・小天守・渡櫓等八棟が国宝に指定され、さらに一九九三年(平成五年)には、法隆寺と共に日本で初めてユネスコの世界遺産(文化遺産)に登録されました。

■工事の概要

工事名称	国宝姫路城大天守保存修理工事		
工 期	2009年(平成21年)10月着工 概ね5年間	軒の高さ	約 40.82m
建物面積	延べ面積 約9,800㎡	最高高さ	約 46.35m
	建築面積 約2,408㎡	階 数	大天守(木造)5層6階、地下1階
		仮 設	素屋根(鉄骨造り)8階

事業主	姫路市
設計・管理	公益財団法人文化財建造物保存技術協会
施 工	姫路城大天守保存修理JV工事事務所(鹿島(株)・(株)神崎組・立建設(株)共同企業体)
事業費	28億円(素屋根工事費12億6千万円、補修工事費15億4千万円)

『天空の白鷺』平成の大修理

昭和の大修理から約半世紀が過ぎ、大天守の漆喰壁、上層部軒やひさしに傷みや汚れが激しくなってきたことを受け大天守の本格的な修理を行うことになりました。

漆喰の厚さ今昔



江戸時代から、伝統工法を受け継ぎ漆喰を、薄く塗り、雨風から建物を守ってきた。現在、大天守や櫓、土塀はこの厚塗で、大天守は更に厚く、約30ミリの大変厚い漆喰で仕上げている。

屋根目地漆喰



屋根瓦の継目や隙間に漆喰を盛り上げるように塗り、風や揺れに対する補強のほかにも均等間隔に塗られた漆喰が独特の幾何学的模様を見せる美観上の効果があります。

壁面修理



1~3層は、表面の漆喰を塗り直し、軒場・破風・懸魚は傷み具合によって上塗りまたは下地から修理。4~5層は下地の土壁から塗り直す全面修理。

■視察を終えて
 事業費の二十八億円に対して工期が概ね五年間というのは、一般の建築工事と比較して、相当長いと思われるが、これも二つの作業が、傷み具合等を調査し修理していくという気の遠くなるような作業の繰り返しをしなくてはならない宿命と教えられました。
 残念ながら屋根及び壁面の修理工事は、ほぼ完成間近で、施工そのものは見学できませんでしたが、漆喰壁工程の再現の様子や、屋根目地漆喰等、「匠の技」を目の当たりにすることができ、日本の建築技術者のレベルの高さを改めて見直すことができました。そして、このような方々が、世界遺産や国宝の保存修理に今後も活躍されることを祈念し帰路につきました。

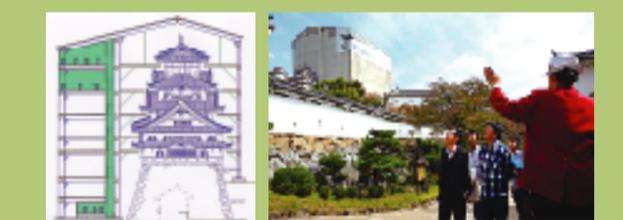
漆喰と土壁

大天守の場合
 ■壁の厚さ
 1~2階 約45cm 3~4階約41cm
 5階 約30cm
 ■漆喰の厚さ
 江戸時代 内・外壁共 約2~3mm
 現在(昭和の修理~現在)
 内壁 約2~3mm 外壁 約30mm
 漆喰は土壁部分に比べるとその薄さが際立ちます。



漆喰壁とは、分厚く塗り重ねられた土壁の表面を漆喰でコーティングした塗壁。防火や防水の実用性だけでなく、見目の美しさも加わる日本壁の仕上げ材で、最高級に位置します。

素屋根工事



大天守を覆う工事作業用の鉄骨構造の8階建て建物。大きさは東西約45m、南北約46m、備前丸からの高さ約52.5m。資材搬入や作業用足場、見学部屋などを設置している。

屋根瓦



瓦の全面葺き直し。瓦は検査をした上で使える物は再利用し、再利用出来ない分は新しい瓦に取り替える。平瓦は全てステンレス製釘で、丸瓦は3枚に1枚を銅線で瓦留めをして目地漆喰を塗り直す。

構造補強



柱・床に最少限度の耐震補強工事。固定は柱等に釘止めを一斉行わず、集成材のクサビ木材で隙間を詰め、上下固定しています。また、見える所には木製の箱でカバーします。

街の おすすめ ショッピング

食べ歩き街「掛川本陣通り」



掛川本陣通りの道場長
株式会社遠州ナヒ
代表取締役
山下隆宏さん

今回ご紹介するお店は(株)遠州ナヒの山下さん含め掛川の起業家4人が集まり「街づくりプロジェクト」として8月25日に連雀通りにオープンしました「食べ歩き街、掛川本陣通り」です。ここは、もともと駐車場だった場所に現在バラエティに富んだ12店舗がひしめき合い屋台村を形成しています。一歩、本陣通りに足を踏み入れると昭和の雰囲気を感じた昔懐かしいレトロな造りの各店が迎え入れてくれます。

新鮮な刺身が売りの居酒屋、油にこだわった唐揚げ屋、ニュージラント人店主のチーズとワインのお店、世界中を旅して辿りついたオリジナルカレー店、本場韓国仕込みのホルモン店、飲んだ後のシメのラーメン屋さん等、

美しく多種多様な料理が楽しめます。ただし、この場所で商売できる期間は3年間のみで、その後、修行を終えた各店主が近隣の商店街の空き店舗などにお店を出店して、掛川の中心街の活性化に繋げていく、そんな熱い思いが本陣通りのコンセプトだそうです。ぜひ、各店の料理を食べ歩きして、お気に入りのお店を発見してみてください。いかがでしょうか？

「掛川本陣通り」内12店舗

大統領	からあげ
パッカ	ホルモン・蒸し鶏
さくまる	居酒屋 (全品390円)
笑い処 michi	温野菜 (ヘルシー料理)
Jiwi/ジューイ	チーズ料理・ワイン
うちめし食堂ぶくぶく	ダイニング (おふくろ料理)
らーめん福助	ラーメン・餃子
スパイス酒場 JAN CURRY	キーマカレー
しゃおら	ギャル居酒屋
投票処	焼き肉
NO NAME	無国籍料理
樹(いつき)	おでん・小料理

食べ歩き街「掛川本陣通り」

〒436-0093 掛川市連雀 2-13
営業 11:30~14:00 17:00~24:00
年中無休 電話 /0537-26-9229

一里塚を訪ねて 其二 磐田の巻

シリーズ最後の今回は、磐田市の二里塚を紹介いたします。

見付宿と阿多古山一里塚

江戸(東京都) 日本橋から数えて62番目



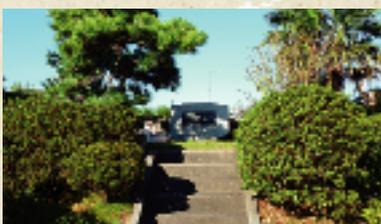
見付宿は、江戸時代後期の資料によれば東木戸から、東坂町、馬場町、西坂町、横町と西木戸まで並び、ほぼ中央には南北両本陣や脇本陣が置かれました。西に天竜川を控え、東海道各宿の中でも重要な宿の一つでした。

この見付宿の東側の入口に、阿多古山一里塚があります。この塚は見付の町を見下ろす高台にあり、京へ向かう旅人は、ここから宿場を眺めてほっとしたことでしょう。

一里塚は、江戸時代の初期に整備されました。一里塚が残っている所は少なく、さらに阿多古山一里塚のように街道の両脇に塚が現在する例は極めて珍しく、昭和四十二年に磐田市の指定史跡になっています。

東海道宮之一色一里塚

江戸(東京都) 日本橋から数えて63番目



江戸時代になると、東海道や中山道などの街道が整備され、多くの人々が安全に旅することができ、荷物も多く、早く届けられるようになりました。

宮之一色一里塚は、昭和四十六年に復元されたものです。

当時は、西に間の宿といわれた池田宿と天竜川の渡船場を、東に見付宿をひかえて、さぞ多くの旅人や荷物が行き交ったことでしょう。一里塚の西に点在する松並木がその名残を今に伝えます。



協会活動報告

平成25年
7月～10月

理事会

- 7/2(火) 第2回理事会
インターンシップの実施
道路愛護・河川美化活動の実施 ほか
- 9/3(火) 第3回理事会
袋井土木事務所等との
意見交換会テーマ募集
- 公共工事必要箇所調査結果 ほか
- 10/8(火) 第4回理事会
平成26年度協会役員・委員の選任方針
道路啓開才ペレシジョン計画の会員
企業の割付
リース会社との資機材供給に関する
協定の締結 ほか

委員会等報告

労務委員会

- 8/26日(月)～28日(水)
磐田農高生インターンシップ
実習生18人 受け入れ会員10社



安全委員会

- 7/26(金) 官民合同安全パトロール
(袋井土木事務所)
- 9/20(金) 官民合同安全パトロール
(磐田労基署・中遠農林事務所)
- 9/27(金)～28日(土)
安全祈願(出雲大社) 15名参加

広報委員会

- 8/1(木) 広報誌「つちおと」第128号の
発行
- 9/26(木) 袋井市長と会長との対談
(つちおと取材)

技術委員会 土木部会

- 7/25(木) 第2回技術者講習会
受講者90名
- 8/21(水) 第11回親子現場見学会
(磐南浄化センター) 参加者19組



- 9/5(木)～10/1(火)
生「J」品質管理監査立会(9箇所)
10/8(火)
第3回技術者講習会 受講者80名

技術委員会 IT対策部会

- 7/4(木) 第2回IT講習会
「クラウド活用とT-S出来形管理」
受講者26名
- 9/26(木) 第3回IT講習会
「T-S出来形管理 実践その1」
受講者14名
- 10/23(水) 第4回IT講習会
「T-S出来形管理 実践その2」
受講者14名

環境 災害対策委員会

- 9/2(月) 災害時「県下一音情報伝達
訓練」の実施
- 10/8(火) 第3回委員会
道路啓開才ペレシジョン計画の会員
企業の割付
リース会社との資機材供給に関する
協定の締結

NPO部会

- 7/19(金)～8/22(木)
道路愛護・河川美化活動(管内4市1町)



- 9/10(火)～10/18(金)
公共工事必要箇所の提案

- 【県】袋井土木事務所32件
- 【市町】御前崎市7件、森町1件、
菊川市4件、掛川市10件、袋井市3件
磐田市9件



御前崎市へ提案

菊川市へ提案

- 9/10(火)
協会員による献血運動 参加者52名



表彰

皆様の受賞を心よりお祝い申し上げます
とともに、益々の「発展」と「活躍」をお祈り
申し上げます。

◎優秀施工者国土交通大臣顕彰

柳澤秀雄(丸明建設(株))

◎静岡県優秀施工者知事褒賞

落合淳三(株)石川組

山崎正好(株)藤本組

◎静岡県交通基盤部優良建設工事等部長表彰

優良工事表彰 石川建設(株)

◎優良技術者表彰 岡本佳文(株)樽林組

◎袋井土木事務所優良建設工事等表彰

優良工事表彰 (株)小原組

◎優良技術者表彰

永野恭広(南部建設(株))・西澤達之(株)

落合組)・村松賢之(株)若杉組)・益並 晶

(株)樽林組)・松浦直己(中山建設(株))・小

林祐次(栗松建設(株))

◎地域貢献表彰 (株)若杉組

◎中遠農林事務所優良工事等表彰

優良工事表彰 (株)増田組)・(株)鈴恭組

◎優良技術者表彰

鈴木秀太(株)大浜中村組)・杉山高史(株)

鈴恭組)・谷高洋二(株)アキヤマ)

◎安全工事表彰

(株)大浜中村組)・(株)遠興(建設部)

◎地域貢献表彰 (株)大浜中村組

◎西部農林事務所優良工事等表彰

優良工事表彰 正光建設(株)

◎国土交通省中部地方整備局優良工事等表彰

優良工事施工者局長表彰 南部建設(株)

◎優良技術者浜松河川国道事務所長表彰

鈴木良治 (株)アキヤマ)

◎建退共静岡岡元支部長表彰

石川建設(株)



安全の道しるべ

官民合同パトロールを実施しました

いずれも、普段行っている安全委員だけの視点だけではなく、発注者及び安全衛生法の視点からもご指導頂く有意義なパトロールとなりました。

7/26



袋井土木事務所吉川検査監はじめ職員3名の方々と共に掛川地区建設現場を3箇所パトロール。

9/20



磐田労働基準監督署内藤安全衛生課長、中遠農林事務所大塚検査監他職員6名と共に磐田地区建設現場を2箇所パトロール。

これいいね! 熱中症予防対策と救急措置の対策がされている



熱中症の分類
及び応急手当

温湿度計

発生時の
救急措置図

すぐ直そう! 掘削箇所への転落防止のために転落防止柵を設置すること



転落する
おそれあり

安全委員会 県外研修 出雲大社に正式参拝



60年に一度の遷宮がなされた出雲大社(出雲市)にて、平成25年9月28日に安全委員15名が協会員各社の安全を願い正式参拝をさせていただきました。

安全表彰

第50回全国建設業労働災害防止大会が平成25年10月10日に朱鷺メッセ(新潟市)で開催され、袋井分会より3名参加しました。

本部長表彰 優良賞 岡野建設(株)

第40回静岡県建設業労働災害防止大会が平成25年10月4日に静岡労政会館(静岡市)で開催され、袋井分会より13名参加しました。

支部長表彰

- 事業場賞 (株)堀内土木
(株)村田建設
- 功労賞 岡野建設(株) 山崎 正
- 功績賞 石川建設(株) 舟原弘智
(株)落合組 弓桁 浩
南部建設(株) 竹林大造



磐田労働基準監督署から

死亡災害件数は過去最小ペースですが、休業4日以上死傷病件数は前年比の件数が増加傾向にあります。年末年始に向けて災害防止に今一度、注意喚起をお願いします。